

2014年9月18日

## 日本ユニシス 充電器 1,000 台による充電インフラネットワークの構築を達成 今年度末 3,000 台規模へ拡大

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長：黒川 茂、以下 日本ユニシス）は、充電インフラシステムサービス「smart oasis®（スマートオアシス）<sup>(注)</sup>」を用いた充電器 1,000 台による、電気自動車（EV）・プラグインハイブリット車（PHV）の充電インフラネットワークの構築を達成しました。

日本ユニシスは、2009年9月から、ITによる充電サービス管理・充電インフラの情報配信などを行う充電インフラシステムサービスの提供を開始し、今年で5年となります。

ITによる充電インフラネットワークの形成は、EV・PHVの普及が進む社会を見据え、日本ユニシスが提唱を始め、2009年から青森県や大阪府などの自治体の賛同を得て導入されました。その後、高速道路会社による課金・決済への対応、カーナビ向け情報配信機能など、さまざまな機能を追加しながら展開し、今では日本全国にサービスを拡大しています。

充電インフラの整備が開始された当初は、利用者認証や課金機能を持たないスタンドアロン型の充電器が設置されていました。しかし、ITを用いた高機能な充電器の設置が主流となり、現在では18の充電器メーカーが「smart oasis」を採用しています。日本ユニシスは、誰もが利用可能なパブリックスペースに設置された充電器 1,000 台を超える充電インフラネットワークの構築を達成しました。さらに、充電器の設置がピークを迎えることが予想される今年度末には、この充電インフラネットワークは 3,000 台規模になる予定です。

日本ユニシスは、「smart oasis」によって、充電器設置者向けのクラウドサービスのほか、充電サービスカードを用いてユーザーサービスを提供する事業者向けのサービス、充電サービス課金・決済ビジネス、さらには EV・PHV を用いたカーシェアリング向けシステムなど、多様なビジネス展開を行っています。今後も、日本ユニシスは、「smart oasis」を EV・PHV の充電インフラシステムサービスとして展開するとともに、多様なサービスとの連携を図ることによって、未来の社会を支える新たな地域交通サービスを実現する社会基盤ビジネスを展開していきます。

以上

### 「smart oasis」が導入された充電インフラネットワーク



**注：smart oasis（スマートオアシス）**

日本ユニシスの「smart oasis」は、電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車（PHV）の充電インフラを利用するための利用者認証機能や課金機能および充電装置の位置情報・空き情報を提供するシステムサービスです。

\* smart oasis は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

\* その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

\* 関連サイト： 「smart oasis」 <http://smartoasis.unisys.co.jp/>

掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。